【総括表】

用途	駐輪場

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	昭和町駐輪場	昭和町	現状維持	
2	新豊田駅駐輪場	小坂本町	現状維持	
3	土橋駅北駐輪場	土橋町	現状維持	
4	豊田市駅東駐輪場	喜多町	現状維持	
5	猿投駅西駐輪場	井上町	現状維持	
6	平戸橋駅駐輪場	平戸橋町	現状維持	
7	西町駐輪場	西町	現状維持	
8	上挙母駅南駐輪場	金谷町	現状維持	
9	上挙母駅北駐輪場	金谷町	現状維持	
10	土橋駅南第１駐輪場	曙町	現状維持	
11	竹村駅駐輪場	竹町	現状維持	
12	若林駅駐輪場	若林東町	現状維持	
13	浄水駅南駐輪場	浄水町	現状維持	
14	上豊田駅西駐輪場	上原町	現状維持	
15	八草駅駐輪場	八草町	現状維持	
16	保見駅駐輪場	保見町	現状維持	
17	貝津駅駐輪場	貝津町	現状維持	
18	新上挙母駅南駐輪場	司町	現状維持	
19	三河豊田駅北駐輪場	山之手	現状維持	
20	末野原駅駅前広場駐輪場	豊栄町	現状維持	
21	末野原駅西駐輪場	豊栄町	現状維持	
22	三河豊田駅南駐輪場	トヨタ町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

当該施設は、多くの市民が日常的に利用しており、常に安全な状態で利用できるよう、維持管理を行う必要がある。なお、対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	昭和町駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	昭和町	延床面積	2,757.05 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
昭和町駐輪場	LWS 造	1992	2,757.05	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷は見受けられない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	新豊田駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	小坂本町	延床面積	680.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
新豊田駅駐輪場	S 造	1990	680.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
新豊田駅駐輪場は建設から約３０年が経過し、老朽化が進んでいる。 令和元年５月に１階事務室天井の雨漏りの修繕を行った（原因は雨樋の詰まりにより、屋上に水がたまったこと）。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	土橋駅北駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	土橋町	延床面積	985.20 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
土橋駅北駐輪場	S 造	2013	985.20	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷等なく、修繕の履歴はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	豊田市駅東駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	喜多町	延床面積	380.82 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
豊田市駅東駐輪場	SRC 造	2006	380.82	1 階	コモスクエア地下 1 階

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷は見受けられない。 コモスクエアを管理する駅前開発（株）に毎年負担金を支払っており、施設全体の修繕計画のなかで、維持管理が行われている。

3　対策内容と実施時期

（1）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（2）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：1）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：2）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：3）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：4）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（3）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

5	施設名	猿投駅西駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	井上町	延床面積	944.54 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
猿投駅西駐輪場	LWS 造	1994	944.54	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化が認められるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

6	施設名	平戸橋駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	平戸橋町	延床面積	269.74 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
平戸橋駅駐輪場	LWS 造	1983	269.74	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
シェルターの経年による劣化が認められるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

7	施設名	西町駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	西町	延床面積	689.26 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
西町駐輪場	LWS 造	1992	689.26	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化が認められるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

8	施設名	上挙母駅南駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	金谷町	延床面積	482.77 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
上挙母駅南駐輪場	LWS 造	1981	482.77	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化が認められるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

9	施設名	上挙母駅北駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	金谷町	延床面積	112.39 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
上挙母駅北駐輪場	LWS 造	1991	112.39	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化が認められるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

10	施設名	土橋駅南第１駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	曙町	延床面積	170.28 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
土橋駅南第１駐輪場	LWS 造	2012	170.28	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

11	施設名	竹村駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	竹町	延床面積	907.45 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
竹村駅駐輪場	LWS 造	1997	907.45	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

12	施設名	若林駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	若林東町	延床面積	1,552.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
若林駅駐輪場	LWS 造	1991	1,552.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるものの、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

13	施設名	浄水駅南駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	浄水町	延床面積	1,404.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
浄水駅南駐輪場	LWS 造	2005	1,404.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

14	施設名	上豊田駅西駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	上原町	延床面積	211.79 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
上豊田駅西駐輪場	LWS 造	1982	211.79	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化が認められる。 道路拡張に伴い、移転の予定あり。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

15	施設名	八草駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	八草町	延床面積	224.64 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
八草駅駐輪場	LWS 造	2008	224.64	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

16	施設名	保見駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	保見町	延床面積	112.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
保見駅駐輪場	LWS 造	1988	112.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

17	施設名	貝津駅駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	貝津町	延床面積	233.17 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
貝津駅駐輪場	LWS 造	2005	233.17	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

18	施設名	新上挙母駅南駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	司町	延床面積	428.62 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
新上挙母駅南駐輪場	LWS 造	2008	428.62	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

19	施設名	三河豊田駅北駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	山之手	延床面積	171.98 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
三河豊田駅北駐輪場	LWS 造	2004	171.98	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

20	施設名	末野原駅前広場駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	豊栄町	延床面積	359.30 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
末野原駅前広場駐輪場	LWS 造	2012	359.30	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

21	施設名	末野原駅西駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	豊栄町	延床面積	218.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
末野原駅西駐輪場	LWS 造	1992	218.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

22	施設名	三河豊田駅南駐輪場

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	トヨタ町	延床面積	374.00 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
三河豊田駅南駐輪場	LWS 造	1980	374.00	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
経年による劣化は見られるが、目立った損傷はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
「安全・安心な施設管理」と「トータルコストの縮減」を柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。 点検結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新にあたっては、省エネ効果の高い照明のＬＥＤ化など、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、維持管理を含めた費用（ランニングコスト）の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。